

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画中間見直しに係る主な会議の意見と対応(案)について

R7.10.31 令和7年度守山市廃棄物減量等推進審議会

R7.12.16 守山市議会12月定例会会議

R8.1.25 市民説明会(計3名)

R8.1.27 市民説明会(計3名)

No	会議	区分	意見概要	回答	ページ
1	審議会	ごみ量	数値目標は、「削減量」だけでなく「削減率」を記載したほうが良い。	検討する。 →家庭系ごみ5.4%、事業系ごみ3.7%減と記載	P27
2	審議会	ごみ量等	ごみ量やリサイクル率は、守山市が県内で何番目かを記載してはどうか。	記載していく。 →現状と目標で順位記載(総ごみ量3番→2番、家庭系5番→2番、事業系5番→4番、リサイクル8番→6番)	P12、14、15、23、27
3	審議会	リサイクル率	リサイクル率の目標達成のため、紙おむつリサイクルなど新たな対策をうつべき	雑がみの資源化や落じんコンベアの改修による焼却灰の再資源化によりリサイクル率をあげていく。	—
4	審議会	リサイクル率	資源物の盗難の記載を見直したほうがよい	修正します。 →資源物について、民間回収ルートによって行政回収の資源物が減っていることと盗難によって資源物回収量が減っていることを分けて記載	P15
5	審議会	リサイクル率	民間回収量を含んだリサイクル率とするのであれば、「総リサイクル率」など文言を分けるべき。	検討する。 →「リサイクル率」と「総リサイクル率」を区分し記載	P30
6	審議会	リサイクル率	資源物ごとの減少率を把握すべき。目標が不可能に近いので、実効性が高いものに見直すべき。リサイクル率より総ごみ量を減らすことに主眼を置いた計画とすべき。	市として高い目標設定していく。	—
7	審議会	施策	食品リサイクル法等の再利用の促進について、周辺に施設はどれくらいあるか。今後の取り組みの方向性は。	企業訪問を通して事例紹介し、先進的な取り組みを広げていく。	—
8	審議会	施策	一般廃棄物処理困難物への対応について、「例えば〇〇」等イメージがつくよう記載してはどうか。	記載する。 →漬物石、物干し台等と記載	P35
9	審議会	施策	処理困難物の対応については、消火器や車のタイヤなど対応できないものもあるので、「可能なものについては」等と記載してください。	記載する。 →処理困難物の対応について、可能なものは受入体制を構築と記載	P26

No	会議	区分	意見概要	回答	ページ
10	審議会	施策	『集合住宅におけるごみの適正排出と減量化の推進』について、具体的にどのようなことをするのか。また、事業者の他市へのごみの持ち出しは把握されているのか。	展開検査や企業訪問を実施するなか指導していく。	—
11	審議会	施策	『高齢者等ごみ出し支援等の実施』について、市が現在実施している制度の対象は？意見の集約はどのようにやるのか。	高齢者だけでなく障害をお持ちの方などを対象としている。福祉部局と連携し、課題を把握していく。	—
12	市議会	施策	リチウムイオン電池の啓発について、常に目に触れていただくことが大事であり、グッズなどを検討してほしい。	検討していく。	—
13	市議会	施策	リチウムイオン電池については、スーパー等の店頭回収においては危険性を加味するなか検討すべき。	店舗の入り口、出口に置いている。また、回収箱も蓋が飛ばないものを採用している。	—
14	市議会	施策	リサイクル率を高めるため、常設の回収場所を増やすなどの検討をすべき。	小型家電については対応しているところであるが、その他については課題もあるので検討していく。まずは、民間施設の紹介を行っていききたい。	—
15	市議会	施策	紙おむつリサイクルを今後検討していく際には、現場の負担感を加味した中、検討していったほしい。	出す際の手間も含め調査研究していきたい。	—
16	市民説明会	ごみ量	ごみ量は、物価高騰により減っているのではないか。	新環境センター稼働時に全自治会をまわり市民説明会を実施し、その後、順調に減っているため市民意識の変化によるものと考えている。	—
17	市民説明会	ごみ量	サーマルリサイクルをするにはごみ量は増えたほうが良いのでは。	発電を目的としている施設ではない。しっかりごみの減量化に取り組み地球環境を守っていく。	—
18	市民説明会	ごみ量	サーマルリサイクルを推進するとCO2が増えるのでは。	ごみの減量化を推進しており、サーマルリサイクルはリデュースのうえで排出されたもので実施している。今回の見直しでは更に5%のごみ量の削減を目標としている。	—
19	市民説明会	施策	新聞などの拠点回収をすれば出しやすいのでは。	周辺へ影響があるため、監視体制の構築など課題を整理していくことが必要。	—
20	市民説明会	施策	言語や文化などの違いでごみ出しルールがしっかり伝わらないことにより、ごみ出しに問題を抱える集積所が発生している。	管理会社を通じて、ごみ出しルールの周知を図っている。今後も粘り強く指導していく。	—

※市民説明会における日ごろのごみの出し方に係る質問は割愛しています。